

豊岡市制20周年記念式典 式辞

深まりゆく季節のなか、円山川の水面^{みなも}には紅葉がゆらめき、
山々には冬の気配が静かに忍び寄る時節となりました。朝霧に包まれた河畔のほとりでは、コウノトリが翼を休め、豊かな実りを迎えた山里には、人々の営みのぬくもりが感じられます。

本日ここに「豊岡市制20周年記念式典」を挙行できますことを、心よりうれしく、光栄に存じます。

この記念すべき日にご臨席賜りましたご来賓の皆様、これまで豊岡市のまちづくりにお力添えいただいたすべての皆様に、深く感謝を申し上げます。私たちが今この場に立っているのは、合併から20年間、またそれ以前から、この地域に思いを寄せ、守り、発展させようと懸命に尽くしてこられた、先人たちの情熱と努力があったからにほかなりません。私たちは、そのバトンを確かに受け継ぎ、先人たちが「残そうとしてきた未来」をまさに今、生きています。

2005年4月1日、豊岡市、城崎町、竹野町、日高町、出石町、但東町の6つの地域がひとつになり、新しい豊岡市が誕生いたしました。それぞれの地域が築いてきた歴史と取組は、私たちの暮らしに深く根付いています。

経済と行政の要を担う鞆のまち。コウノトリの野生復帰をシンボルとする「人と自然が共生するまちづくり」を牽引してきました。その理念は、市内外の人々の共感を呼んでいます。

1300年の歴史を誇る温泉のまち。外湯めぐりの風情が心を癒し、災害復興を成し遂げた努力は、豊岡のレジリエンス（しなやかな強さ）を体現しています。

日本海の恵みと北前の文化が息づくまち。「自然や文化資源を活かし、未来につなぐ」姿勢は、持続可能なまちづくりの可能性を示しています。

豊かな自然と産業が調和するまち。植村直己の冒険スピリットを受け継ぎ、農業・ものづくり・スポーツが一体となり、地域の元気を創り出しています。

古き良き城下町の面影を残すまち。歴史を守り、文化を伝える

誇りをもって励んでこられた姿勢は、まちづくりの原点を教えてください。

豊かな山里の自然と住民の絆が魅力のまち。モンゴルとの民間交流などを通じて、異文化理解と住民の連帯を深め、「人と人が支え合うぬくもり」を紡いでいます。

これら6つの地域が、それぞれの個性を大切にしながら、互いを尊重し、支え合ってきたこと。それこそが、豊岡市が20年という節目を迎えられた原動力であります。

しかし、その歩みは平坦ではありませんでした。合併を目前にした2004年10月20日、私たちは台風23号という大きな災害に見舞われました。幾多の困難を乗り越え、地域の^{あかり}灯を守り、たゆまぬ歩みを支えてくださった、すべての市民、そして関係者の皆様に、改めて心より感謝を申し上げます。あの惨禍から立ち上がり、笑顔を取り戻した市民の姿こそが、豊岡の底力であり、希望の光でありました。その経験と教訓こそが、今もこのまちの礎となっています。

豊岡の20年を語る上で、決して欠くことのできない、まちの根幹となる思いがあります。それは、「命への共感」です。一度は日本の野外から絶滅したコウノトリの野生復帰という、壮大な挑戦。今、野外で暮らすコウノトリは500羽を超えました。全国であるいは海を渡って海外へ。悠然と空を舞う姿は、私たちの誇りであり、この理念が決して夢物語ではないことを、私たちに教えてくれています。

この挑戦の先に、豊岡の未来を照らす新たな光が生まれています。

但馬初の4年制大学である兵庫県立芸術文化観光専門職大学の開学は、芸術文化の力、観光の力を核として、この地から世界へ羽ばたく若者を育む教育拠点へと結実しました。また、「今、ここ」豊岡で新しい人生を始めたいと願う移住・定住者を温かく迎え入れています。「豊岡で暮らすことの価値」が、人々の心を惹きつけ、新しい希望となっている証です。

そして未来へ。

私たちは、人口減少という厳しい現実には直面していますが、その現実には私たちから活力を奪うことを意味してはなりません。

今日の日、単なる「過去の振り返り」ではありません。私たちは、これを「新たな船出」として捉え、次の航海へと邁進してまいります。

荒波に遭っても、誰もが誇りを持ち、夢や希望を語れるまち。挑戦する人をまち全体で支え、多様性にあふれたまち。そのような「豊岡」を市民の皆様と共に創り上げていきます。

未来を担う子どもたちに、コウノトリが悠然と舞うふるさと、挑戦を応援する人々の温かさ、そして世界に繋がる可能性という最高の贈り物を手渡す責任が私たちにはあります。「命への共感」を大切にする豊岡の理念を胸に、私たちは次なる一步を踏み出します。

本日お集まりの皆様、そしてこのまちを愛し、支えてくださったすべての方々に、心からの敬意と感謝を込め、式辞といたします。

2025年11月16日

豊岡市長 門間 雄司